



- ① ケース 1 ($V_r = 3.0$ km/s)
- ② ケース 2 ($V_r = 2.1$ km/s)
- ③ ケース 2において $V_r = 3.0$ km/s と変更 (すべり速度時間関数についても $V_r = 3.0$ km/s により設定)
- ④ ケース 2において $V_r = 2.1$ km/s のままとする。但し、すべり速度時間関数は $V_r = 3.0$ km/s より設定
- ⑤ ケース 1において $V_r = 2.1$ km/s と変更。但し、すべり速度時間関数は $V_r = 3.0$ km/s のままで設定

図 19 破壊伝播速度の違いによる計算波形（工学的基盤上の速度波形）の比較